



こずえから なぎさを応援 セミの声



夏休みに入ってもあちこちで元気ななぎさっ子に出会います。**サマー練成**では、苦手な単元や宿題のやり方など、一人一人教えてもらえるところがわかりやすいと好評。粘り強く取り組む力がつきます。将来、役立つ大事な力です。



6年生では、宿題のほか、自主的に自分がやりたい**テキスト**を選ぶことができます。自分を振り返り、計画的に学ぶ力がつきます。

一方、**AST**では、水鉄砲で水遊びをしていました。濡れてもいい服に着替えて準備万端。芝生の上を走り回って大はしゃぎです。



海棟にある**ランチの庭**では、2年生が育てているトマトがおいしそうに実っていました。夏休み前から次々と実ったトマトは、今、冷凍しています。さて、どんな料理に使えるでしょう。楽しみ！



アブラゼミ

「アブラゼミ」という名前の由来は、翅が油紙を連想させるため名付けられたという説や鳴き声が油を熱したときに撥ねる音に似ているため、「油蟬（アブラゼミ）」と名付けられた説などがある。正門近く木にとまって鳴いていました。

7月の生活目標

- ・まわりの人にやさしくしよう
- ・水分補給をこまめにしよう

朝の涼しい時に、1歩学校に足をふみいれると、セミがしきりに鳴いています。夏休みになったものの、勉強や研究や遊びに頑張るなぎさっ子を応援しているようです。4年生の教室前を通りかかると、社会科でゴミの学習をしたので、ゴミを題材にした俳句（川柳）が掲示してありました。深く学んだことが言葉の一つ一つに表れていて感心しました。



理科では、**科学研究相談日**に親子で参加する人がたくさんいました。毎年、広島県に出品され、表彰を受ける人も大勢いて素晴らしいです。深く広く学習を進める力がつきます。

理科では、**科学研究相談日**に親子で参加する人がたくさんいました。毎年、広島県に出品され、表彰を受ける人も大勢いて素晴らしいです。深く広く学習を進める力がつきます。



なぎさっ子の科学研究への熱意には、目を見張るものがあります。身近な疑問から出発して、計画的に実験・観察を続けながら問題に取り組めます。